



2008年 6月 30日発行

③ 保谷・朝霞線

6月議会の質問は全部で8つ。まず野寺、道場の方達が心配している、都市計画道路問題から報告します。

どうやら保谷・朝霞線は全く必要の無い道路のようです。40年前の計画通り 20Mなら問題ないという人もいますが、実際には必要ありません。今回の質問でそれを確信しました。必要だから作るのではないのです。須田市長に言わせると「作ると決めたから作る」という訳です。そこには住民のことなど、これっぽっちも考えない行政の傲慢さがあります。道路は止めてはいけません! 」という市長の言葉がそれを表しています。

54億かけて作る東久留米・志木線も水道道路で行き止まり、この保谷・朝霞線だって、産業道路で行き止まりだって知っていましたか。

東京の調査と埼玉の調査

最新の東京都の予想では調布・保谷線の県境の交通量は1万台/日となっています。放射7号に吸収されるから県境まではそれほどの車は来ない。そういう判断なのです。一方で埼玉県(新座市)の予想は3万台。同じ道路で2万台もの差があるのです。こんなインチキはないでしょう。交通予測がいかにいい加減なものかということが分かります。しかも、新座市の予想では県境3万台なのが産業道路で1万台になっていますから、県道には2万台が流れていくということに……要するに4車線にする為に「3万台」通るという予想を立てたのです。予想して4車線にするのではなく、4車線にする為に「3万台」にしたのです。日本の役人はこういう方法で日本全国に要らない道路を作ってきました。「道路特定財源」という国民のお金で、世界で突出した道路建設国家となっているのです。要するに国の補助金欲しさに、埼玉県と新座市が言いなりになって、

道路延長率

1キロ平方キロ当たりの道路の長さ。

カナダ	0.14キロ
アメリカ	0.66
ニュージーランド	0.34
韓国	0.87
スウェーデン	0.47
スペイン	0.13
ドイツ	0.64
イタリア	1.59
スイス	1.72
イギリス	1.53
日本	3.14

日本という国は人々のために道路を作ってきた分けではないんです。人々の為に使うお金を道路にしてしまったのです。その典型が今の新座市政です。今から10年もかかっているか、できないかという道路に100億円。この気遣いじみた発想を変えない限り、日本に未来はないでしょう。そして何より先、野寺・道場の住民達の気持ちを全く考えない行政に唾然としました。27Mの4車線道路は騒音・排気ガス・振動そして生活道路の分断と数え切れないほどのマイナス要素を住民に半永久的に負わせます。閑静な住宅街に何十年も住んできた住民の心を考えられない県知事や市長などいません。須田市長は後期高齢者医療制度の質問の時に名言を吐きました。高齢者の医療費を

「誰が払うんだ! 市民の皆さんが払うんだ! 」と、僕ら市民は自分達の血税が道路などより先お年よりの為に使われることを望んでいます。だって、僕らは彼らによって育てられて、ここまで成長してきたのですから……。上田知事も須田市長も日本人の大事な心を失ってしまったようです。お年寄りを敬う」という当たり前の心を。

借金・しがらみ・先送り

もう
ほっとけない!

CHANGE!
NIZA

『もうほっとけない!』

にいざ市民のみなさんに、この言葉をひろくお伝えしたいと私は思っています。

にいざの未来は、わたしたち、一人ひとりの未来にかかわってきます。

私は今こそ「手詰まり新座」市政の停滞からの脱却をはかるため、多くの市民のみなさんと共に一歩一歩行動してまいります。

田中ゆきひろ

③ もう、ほっとけない!

この言葉はテレビの朝番組から貰ったものだと思いますが、今の新座市の現状を的確に表している言葉でもあります。新座市の借金は700億を超えています。実質債務残高比率(将来に負担する借金の割合)も相変わらず220%を超えています。その数字は県下40市中ワースト6位に入る数字です。前年はワースト3位でしたが、余りにもひどい状態なので県から指導を受け「土地開発公社健全計画」により表面上は借金が少しずつ減っているだけのこと。しかしこれは学校などの公共施設の改修工事などを先送りしているからです。必要のない道路(例えば東久留米・志木線の1440M)に54億もかける一方で、必要な整備には手を抜いているのです。27万平米にも及ぶ借地問題にも手をつけていません。須田市長になってから4期、16年の月日が経ちました。長期政権には「しがらみ」がつきものです。新座市も例外ではありません。市民の税金をどう使うのか。それをチェックする議員も26人中19人が市長与党。あの「後期高齢者医療制度」に賛成した議員が19名もいたのです。もうほっとはおけないでしょう

たかやん



久しぶりに二中の子達が遊びに来てくれました。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。1954年、東京都新宿区生まれ。西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。大学3年の時、朝日新聞の「今学校で!」を読み、教師になることを決意する。1977年から五中・六中・二中で子ども達と一緒に生きる。授業に、クラスに、そしてテニスに燃えた2年間だった。2000年2月、市議会議員選挙で9768円で戦い975票で落選。2004年2月の選挙でも、お金をかけずに戦い1272票で初当選。2008年も同様に、1433票で当選。2期目に入る。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。現在は建設常任委員会に所属。無駄な道路、箱物に反対しながら、公共施設の改修などを訴えている。また議会を離れたところでは「たかやん塾」で小中学生・高校生と共に歩み、石神小と六中では障がい児のボランティア活動に燃えている。黒目川川づくり懇談会代表。自然護岸を目指す。石神3丁目在住。趣味はテニス・サッカー・囲碁・将棋・読書・音楽。小野伸二・クルム伊達公子・羽生義治のファン。

詳しくは [たかやんの応援団](#) で [検索](#)

たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869
携帯 090-6497-5737

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106